

裁判員経験者意見交換会

～僕が？私が？裁判員！？～

開催
概要

8月27日(土)、京都地方裁判所において、若い方々の裁判員裁判に対する不安を払拭し、裁判員への参加意欲を高めていただくことを目的に裁判員経験者意見交換会「～僕が？私が？裁判員！？～」を実施しました。



裁判員等選任手続体験

当日は、高校生及び大学生の方を中心に26名にご参加いただきました。

参加者の皆様には、実際の裁判員候補者にお送りする選任手続期日のお知らせに見立てた参加案内を事前にお送りしました。当日は、裁判員制度についてご紹介した上で、質問票の作成等を体験していただきました。

模擬裁判 & パネルディスカッション

裁判員経験者及び法曹三者(裁判官、検察官、弁護士)による模擬裁判・パネルディスカッションを実施しました。

パネリストとして裁判員経験者3名、検察官1名、弁護士1名にご出席いただきました。このほか、司会進行役の裁判官1名とパネリストの裁判官1名が出席しました。パネルディスカッションの最後には、パネリストと参加者の皆様との間で質疑応答が行われました。



～裁判員経験者の声～

パネルディスカッションでは、裁判員経験者と法曹三者による活発な意見交換が行われました。その中での「裁判員経験者の声」を一部ご紹介します。



【20代、男性】

審理を進めていく中で他の裁判員とも自然と意見交換をするようになりました。裁判員を経験してニュースの見方も変わりました。本当に良い経験になったので、若い人たちにも是非やってもらいたいです。



【30代、男性】

職場も応援してくれたので、裁判員裁判に参加しやすかったです。裁判後は周囲から深く聞かれることもなく、また裁判所からの説明もあったので、守秘義務のことは気になりませんでした。皆さんにも是非裁判員をやってもらいたいです。



【30代、女性】

裁判所も手助けしてくれて話合いがしやすかったです。若いうちに裁判員を経験していたら、法律関係の進路も考えたのかもしれないなと思いました。良い経験になるので、機会があれば、皆さんにも参加してほしいです。

参加者の皆様には、法廷見学や法服試着もしてもらいましたニャ。

参加者の皆様から、「裁判が身近にあるんだと感じました。」、「裁判員に選ばれたらやってみたいです。」といった感想も頂戴しましたニャ。



京都地方裁判所